

小・中学校統合・再編

No.7

長島町立小・中学校の統合再編にかかる7回目の意見交換会が2月29日、町長部局と教育委員会、議会の三者によって行われました。

小学校の統合再編については、複式学級の解消を推進していくことが確認されており、対象の小学校区において1月下旬からこれまで説明会・意見交換会を開催してきました。その結果、田尻小学校は統合再編することでの理解をいただいたこと、また、伊唐小学校、汐見小学校については結論には至らなかったことなどが報告されました。

また、中学校の統合再編については、これまでに保護者を対象としたアンケートを実施したり、三者による協議を積み重ねたりしてきましたが、結論を得るまでに至らず、教育委員会の意向は踏まえつつも議会の審議結果を受けて3月議会議決後、最終的には町長が判断することになりました。

小・中学校の統合再編にかか
る方向性は次のとおりです。

■小学校の統合再編

複式学級の解消を推進する

(田尻小、伊唐小、汐見小)

- ① 田尻小学校は川床小学校と統合
- ② 伊唐小学校は鷹巣小学校と統合

③ 汐見小学校は城川内小学校と統合
・ 田尻小学校については平成28年3月議会で条例改正議案議決
・ 他の2校については、関係者の理解を得られるよう協議を継続する

■中学校の統合再編

2校への統合再編を推進する

- ① 川床中学校は鷹巣中学校と統合
(鷹巣中学校へ)
- ② 平尾中学校は長島中学校と統合
(長島中学校へ)

中学校を2校とする理由として
(1) 既存の学校存続(4校)は、
議会で陳情が不採択とされ、
住民の間にも統合再編への意
向は強い

(2) 長島本島では1校が理想であるが、アンケートの回答率が十分とはいえず、また、現状では町民(各界各層)の理解が得られたとは言い難い
しかし、生徒数の推移、教職員定数の現状等を勘案し、教育環境を改善する必要がある

中学校2校への統合再編については、今後PTAおよび地域の理解を得られるよう、説明会を実施していくこととなります。

関東・関西ながしま会が町へ寄附金

3月20日の長島町町制施行10周年にあわせて、関西ながしま会(金磯清隆会長)と関東ながしま会(児島寛会長)から本町へ寄附金が贈呈されました。

この日、金磯会長と児島会長の両氏が訪れ、川添町長に寄附金を手渡しました。

両会長は「長島の子どものための教育のために使っていただきたい」と話し、川添町長は「長島の子どものために大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。



↑川添町長へ寄付を手渡し金磯会長(写真中央)と児島会長(写真右)

暴力団排除に向け協定を締結

3月30日、暴力団排除措置に関する協定調印式が阿久根市役所で行われました。

この協定は、暴力団などの反社会勢力排除活動を図るために阿久根警察署と長島町および阿久根市が連携し、暴力団排除措置などへの速やかな相互支援体制を構築することを目的としたものです。

この日は、阿久根警察署の白川勉署長、西平良将阿久根市長、川添町長が協定書を交し、暴力団排除措置などへの支援・協力体制の確認が行われました。



↑調印式で結束を固める西平市長、白川署長、川添町長(写真左から)